

岩手県胆沢川上流域

[前川・タモノキ沢・北沢・大寒沢・大沢、尿前沢]

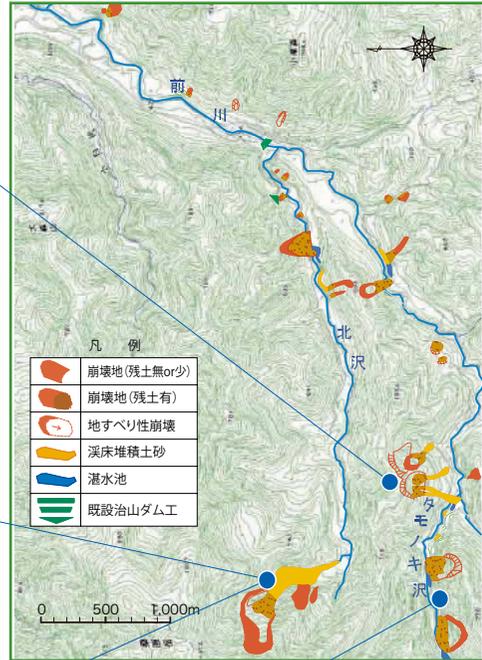


地形地質 前川流域は栗駒山北側から東西方向に伸びる尾根により形成された急斜面が分布しています。地質は主に凝灰角礫岩や砂岩が分布しています。尿前沢流域は焼石岳南東部に位置するため、凝灰角礫岩や砂岩の上に溶結凝灰岩や焼石岳起源の泥流堆積物が堆積し、左岸側尾根部には火山噴出物（溶岩・凝灰角礫岩）が分布しているのが特徴です。

被災状況 前川上流域では、タモノキ沢中流域や北沢を中心に深層崩壊や地すべりが発生し、特に北向き斜面に集中しています。尿前沢上流域では上流部右岸および下流部左岸に山腹崩壊が集中し、再滑動型地すべりも確認されています。両流域合わせて、崩壊箇所は577箇所、不安定土砂発生量は約760万m³です。



タモノキ沢左岸 山腹崩壊状況



※荒廃現況図
代表的な区域と山腹崩壊地を掲載



北沢最上流部 山腹崩壊により発生した不安定土砂の堆積状況



北沢 山腹崩壊地内の状況



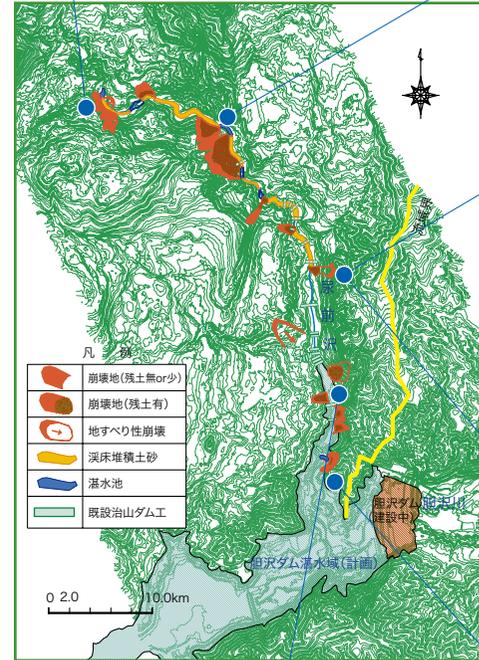
タモノキ沢上流右岸 山腹崩壊状況



尿前沢最上流部 山腹崩壊による河道閉塞状況



尿前沢右岸 地すべりによる河道閉塞状況



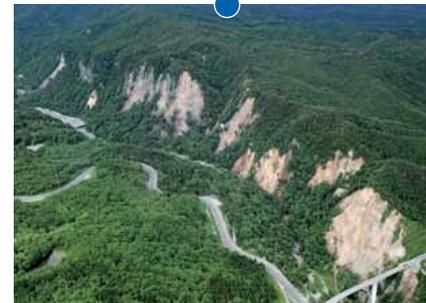
※荒廃現況図
代表的な区域と山腹崩壊地を掲載



尿前沢中流左岸 山腹崩壊状況



尿前沢中流左岸 山腹崩壊地内の荒廃状況



尿前沢下流左岸の山腹崩壊群 既設の治山ダムが上流域で土石を捕捉し、下流域及び胆沢川への流出を防いでいる



尿前沢 被災した林道